

【議会報告会】

○十四川、米洗川において、防災、防犯、道路維持管理の車両が巡回しているところを見たことがない。どのような対応状況か。

⇒議員 例えば、台風の影響による警報発令時や、災害が発生する可能性があるときには、消防団を含む消防車両などの緊急車両が、当該河川の巡回を実施している。他の重要河川や二級河川については、消防本部が主体となって巡回し、現地の情報を危機管理課が一括管理する仕組みになっている。

また、河川にライブカメラを設置して水位を確認しており、CTYのホームページで公開している。三重県が運営している「防災みえ」でも河川の水位を確認できるため、活用してもらいたい。

○河川の増水状況をライブカメラで確認していることについて、大雨が降ると、映像が撮れなくなると思う。そういった問題も今後考えてほしい。

⇒議員 貴重なご意見として承る。

○一番街商店街のメイン通りに常にごみが放置されているところがあるが、対処できないのか。

⇒議員 所有者にとってはごみではない場合もあり、行政が勝手に処分するわけにはいかない。市としても、道路上に出ていて通行を妨げるものについては指導しているが、現状は綺麗になっていないため、法律とも向き合いながら担当部局に伝えていきたい。

○ごみが放置されているところの近隣の方に話を聞いたが、商店街の人たちは市役所が何もしてくれないと言っている。また、あれらのごみは捨てるでもいいものだから、市役所に捨てるよう言ってほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○警察がパトロールをしているのを見たことがない。市内の安全は保たれているのか。

○AEDの操作方法など救命救急の方法を小中学校でも教えるべきだ。

⇒議員

- ・警察は登下校時にはパトロールを強化している。警察にも意見を伝えたい。
- ・PTAがAEDの講習を受ける学校もあるが、感電の恐れがあることなど、子どもが扱うには難しい。

○令和6年度の待機児童が100名ほど発生する要因は人材不足が主だと理解するが、本市独自で奨学金、家賃補助等の施策を行っているのか。また、100名の年齢別の内訳を公開してほしい。

⇒議員

- ・市の奨学金制度に加えて、勤続1年、3年が経過した保育士への奨励金制度、私立園への補助、幼児教育センターの活用など、市としても力を入れているが、人材不足の解消には至っていない。
- ・年齢別の内訳は示されていないが、そうした情報を求める声があることは担当部局へ伝えたい。

○小中学生に自衛官や警察、消防、交通警備の仕事を体験させてはどうか。また、地区のこどもみまもりたいの活動が不十分ではないか。

⇒議員 さまざまなイベントを通じて消防や自衛官をはじめ各団体が活動をPRしている。また、こどもみまもりたいについても通学路での見守り活動をしていただいている。

○待機児童が増えている現状で、誰でも通園制度が始まるというニュースを見たが、この制度のために、待機児童がさらに増えてしまうのではないか。

⇒議員 こども誰でも通園制度は、国が令和6年度にモデル事業として始めるものであり、令和8年度の全国展開を目指している。本市でも取り組みをすべきだが、人材不足等の現状がありそこまで手を付けられていない。課題を整理し令和8年度のスタートを目指しているため、ご理解いただきたい。

○自転車の盗難やごみのポイ捨て防止のため、駅前や駐輪場にカメラを設置していくのか。

⇒議員 地域の防犯の安心安全を保つために、地域の自治会により防犯カメラが設置され

ている。市はこれに補助金を交付しており、通学路は3分の2、ごみ捨て場や通学路ではない道路は3分の1の補助率となる。犯罪抑止や緊急時の早急な対応、警察との連携が図れるため、市民協働安全課が担当して自治会による設置が進められている。

○防犯カメラの補助金について、子どもの安全をさらに守るため、補助率を3分の2ではなく、もっと高く設定することが望ましいと考える。また、高齢者に、子供の見守りに協力してもらうよう促す広報活動が必要ではないか。

⇒議員 例えば、自治会から補助率をもっと増やすべきではないかという意見が出されたことに対して、議員の中で見解の統一を図り、予算の提言をあげていく方法があると考ええる。

#### 【シティ・ミーティング】

##### 《テーマ：四日市市政全般について》

○議員文化祭については、議員の個人の活動だから公式には広報しないと説明を受けたが、これをきっかけに市民に議会に対して興味を持って傍聴に来てもらえるよう、積極的に広報するとよいと思う。また、PFASに関する請願について、ほとんど議論されないまま不採択になったが、なぜ不採択になったのか。

⇒議員

- ・委員会では、地域住民のうち希望者を対象に血液検査を行うことの可否について議論が集中した。
- ・人権に配慮した上で、検査を希望する住民を対象に血液検査をすることが住民の安心につながると考え、賛成討論を行った。

○PFASに関する請願について、人権に関わるからということで不採択になったようだが、住民自身が希望して検査を受けるのであれば問題ないはずである。反対した根拠を聞きたい。

⇒議員 委員ではないので詳細は分からないが、委員会では半ば強制的に検査するようには思われたのではないか。請願は不採択になったが、このような市民の声があることを議会としてきちんと受け止め、今後も意識していく。

○PFASの請願に対して、手遅れになる前にもっと前向きに取り組むべきではないか。

⇒議員 海外では以前から問題になっていたが、最近になって日本も無関係でないことを知った。今からでもこの問題の報道等に注目していかなければいけないと考えている。

○大学の誘致について、地域企業への人材供給が目的ならば、本市の企業への就職に奨学金を出すという手段など、他の手段の方が合理的ではないか。

⇒議員 大学構想策定委員会の概要が公表される。そこには大学設置の目的や規模等が記載されているので、確認してほしい。

○市が第5次障害者計画を発表したが、議員もこの計画の内容をしっかりと把握して障害者福祉についてしっかりと考えてほしい。また、認知症フレンドリー宣言後の取組にも非常に期待している。

⇒議員 教育民生常任委員会でも、障害福祉、高齢者福祉に関する議論が増えてきたと感じている。計画されている取り組みがしっかりと実施されるよう頑張っていきたい。

○市議会中継について、カメラアングルが固定されており、魅力がない。改善できないのか。

⇒議員 ご意見として承る。

○国会で問題になっているが、四日市市議会では政治資金規正法に違反するような事例はないのか。

⇒議員 我が身のこととしてしっかりと考えていく。

○市が無駄な歳出を削減すればもっと良い図書館や温水プールができるのではないか。

⇒議員 ご意見として承る。

○大地震が発生したときに障害者の避難先がない。ペットと一緒に避難できる避難所は議論されるのに、障害者は後回しにされている。子どもや高齢者福祉ばかりではなく、障害者にも目を向けてほしい。

⇒議員 障害福祉サービスを利用する子どもの数は年々増加しており、議会としても取り

組んでいるが、まだ不十分だと考える。今後も取り組みを続けたい。

○以前に障害者の生活を支援する施設で就労したことがあるが、現場は大変である。市はもっと障害者を支援してほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○令和6年度に自治会の法人化に関する予算があるが、市はどのように方向性をもっているのか。

⇒議員 市が法人化を促すものではなく、法人化を検討している自治体に対して、費用の一部を支援しようとするものである。

【議会報告会】

○食肉センター、食肉地方卸売市場の拡張について、新正南公園に整備予定の県職員用の駐車場を軽自動車専用の区画にすれば、駐車場の面積を減らすことができ、新正南公園の面積を広く残すことができるのではないか。

⇒議員 食肉センター・食肉処理場内を一方通行化するために、県職員の駐車場を利用し場所を拡張するために、新正南公園を代替の駐車場にする案については、協議が進行中であり区画について議論する段階ではないことを理解してほしい。

○他県では兄弟姉妹が同園入園できるように取り組んでいる。四日市市でも取り組むべきではないか。

⇒議員 本市でも兄弟姉妹が同園入園できるように取り組んでいるが、保育士不足のため実現に至っていない。解決すべき課題であるとの認識は市とも共有している。

○花火大会の打ち上げ試験について、打ち上げ想定エリアが航路に近いが、大会に影響はないのか。

⇒議員 打ち上げ想定エリアは航路と重ならないように配慮している。また、実際にどのように打ち上げるかは打ち上げ試験を実施して決定する。

○移動式の監視カメラの電源は電池式とあるが、電池交換の手間が発生するので、近くの電線などから電源を取ったほうが良いのではないか。

⇒議員 移動のたびに電気工事が必要となるため、電池式の監視カメラとなっている。

○自分の子供が待機児童になると、就労できず切羽詰まった状況になるためしっかり取り組んでほしい。また、保育士不足の解消のためには、保育士の資格があつて60歳を超えた人についてもらうなど、より幅広い年齢の人に保育の職に就いてもらうべきと考える。

⇒議員 待機児童の発生は人材不足が大きな要因であり、そのために、全体会でも議論し、その中で、潜在保育士の発掘が重要であり、そのために現職の保育士からの声掛けが重

要であること、胸を張って声掛けができるためには職場環境のさらなる改善が求められることを指摘した。年齢が高い方へのアプローチについても執行部へ伝えたい。

### 【シティ・ミーティング】

《テーマ：四日市市政全般について》

○笹川西小学校が笹川東小学校と統合することになり廃止することが一度決まり、凍結することになったが、今後どうなるのか。

⇒議員 4月に委員会が開かれて今後の方向が決まっていくと聞いているが、今は特段の情報がないため何かをお伝えできる状態にない。

○警察がパトロールをしているのを見たことがない。市内の安全は保たれているのか。

○AEDの操作方法など救命救急の方法を小中学校でも教えるべきだ。

⇒議員

- ・警察は登下校時にはパトロールを強化している。警察にも意見を伝えたい。
- ・PTAがAEDの講習を受ける学校もあるが、感電の恐れがあることなど、子どもが扱うには難しい。

○より多くの市民から意見を聴くために、議会報告会をショッピングセンターなどで開催してはどうか。

⇒議員 過去に複数回ショッピングセンターで議会報告会を開催した。期待したほどの人数の参加はなかったが、通りすがりの人の目に入っただけでも成果があったと考えている。今後も機会があればショッピングセンターでも開催したい。

○渋滞対策として市道を整備してほしい。

⇒議員 市も三重橋垂坂線などの道路整備の計画を進めているが、近年は市が単独で道路を整備することは少なくなっている。

○中央通りの工事について、広く市民の声を聴く形態となっておらず構造的に問題があるのではないか。

⇒議員 バスターミナル整備事業については国直轄事業となり、既に市民に広く意見を求

める状況ではない。近鉄四日市駅周辺整備事業については、市民に広く意見を求めつつ、自治会や周辺商店街の方、四日市市自治会連合会も参加する会議を開いている。

○近鉄伊勢川島駅北口の自転車置き場の状況改善を、昨年から市や議員に訴えてきて、現在状況が動いてきているため、どんな風に展開して行政がどう対応するのか知りたい。また、早く改善をしてほしい。

⇒議員 ご意見として承る。

○J R 四日市駅に大学を誘致する目的は何なのか。日本は少子化がかなり進んでおり、自然的に大学生も減っていくので、活性化が目的ならばショッピングセンターなどの集客施設を誘致すべきではないか。

⇒議員

- ・ショッピングセンターも人口減少により集客力が落ちていく点は大学と共通している。それらの課題を踏まえて、本当に大学が必要なのかを議会で議論していきたい。
- ・地元産業界から要望書が提出されており、ただ単にJ R 四日市駅周辺を活性化させることだけが目的ではない。本市で育てた人材に本市に就職してもらうことや、人口流出を防ぐことも目的として掲げて、市は大学設置を検討している。

○中央通りや県道 64 号線沿線は以前は栄えていたが、今は崩れかかっている店舗もある。行政が取り壊していったん更地にしてはどうか。

⇒議員 私有地の建物を行政の判断で取り壊すことはできない。

○2月定例会議での風致地区条例の改正内容を知りたい。また、太陽光発電施設設置ガイドラインに沿ってさえいけば、風致地区での開発を許可する行政の対応を指導すべきではないか。

⇒議員

- ・条例の改正については、法令および政令の改正に伴う条例の文言整理と発電事業の用に供する蓄電用の電気工作物の設置を市長の許可を要する行為とするものである。
- ・太陽光発電施設設置等の開発行為は県が所管しているため、市のガイドラインは実効性が乏しい。市としてどのように太陽光発電施設の設置を規制していくかは、議会とし



でも研究している。

○路面の「子ども注意」の表示について、高齢者も増えているので「高齢者注意」などの表示に変更できないか。

⇒議員 自動車の運転手に急な飛び出しや歩行者への注意を促すことを目的とした路面標示であるため、現在の表示でも問題はないと考える。

○学校には行けないが、勉強したい子どもがフリースクールに通うのに費用がかかるのでは、経済的に余裕のない家庭の子どもの将来をつぶすことになるのではないか。フリースクールに関して市からの補助はあるのか。また、市では子どもへのケアはどうしているのか。

⇒議員 市には民営のフリースクールしかなく、現在は利用者や事業者への助成も行っていない。市では子どもへのケアとして校内ふれあい教室の設置を進めている。日永地区にある登校サポートセンターや各学校での保健室登校などさまざまな支援を行っており、委員会でも意見を出して議論していきたいと思う。

○居住地区では道路のセンターラインや横断歩道、一時停止線が消えかかっている。また、道路のひび割れ等がある場合どこに報告したらいいのか。

⇒議員 市道であれば四日市市、県道であれば県が対応するが、表記については主に県の対応となる。市道におけるクラックや欠け、穴は、市役所の道路維持課や、市議会議員に相談すると対応してもらえる。

○こどもみまもりたいについて、登校時間に車は一旦停止しない状況なのに、こどもみまもりたいは来ていない。これは、どういうことなのか。

⇒議員 子どもの安全を守っていくことに、議会も協力していかなければならないと思うが、こどもみまもりたいが出ていないことを指導する立場にはないため、通学路であれば学校に相談してほしい。

○投票率の向上のために努力すべきではないか。

⇒議員 投票率は年々減り続けており、特に若い人の政治への関心が薄れていることは当

市議会としても危惧している。今年の日市市長選挙では自力で投票所へ行けない市民へ移動支援を実施する予定であり、少しでも投票率を向上させようと試行錯誤している。

○選挙について、支持政党がない人に政党名を書かせるのは困る。

⇒議員 ご意見として承る。

○若い人の意見が市政に反映されにくく、行っても無駄だと思い投票に行かない人もいる。

今日話を聞いて、議会や議員がいろいろ活動してもらっていることが分かったので、もっと広報していくべきである。

⇒議員 市議会公式SNSでさまざまな情報を発信しているが、登録している人がまだ少ないので、ぜひ登録してほしい。また、今後、議会の取り組みをより分かりやすく伝えるため、専門的知見を活用してインターネット上にプラットフォームをつくるので、ぜひ見てほしい。